

Sanka

讃歌
秋号

京都九条病院 Communication Book

特集

新医局長・外科部長に
お聞きしました。

京都九条病院は
地域の方々に、
最良の医療サービスを
提供していきます。

特集

看護部3階病棟の紹介

目指すのは、患者さんが笑顔になれる
心のこもった看護です。

コミュニケーション広場

知ってよかった「お薬豆知識」講座 第9講目

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座 第9講目

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ 第13弾

私の病院自慢あれこれ 第13回

院内散策

『第4回院内コンサート』



医局長 吉岡 裕司



院長 山木 垂水

vol.13
2008 Autumn
秋号

特集 1

新医局長・外科部長にお聞きしました。

京都九条病院は 地域の方々に、 最良の医療サービスを 提供していきます。



Yuji Yoshioka

京都九条病院 医局長 外科部長 吉岡 裕司

「とても風通しがよい」のが、私たちの医局です。

医局とは病院にある内科や外科などさまざまな科の集まりで、各科それぞれの持つ専門性を生かしたベストな治療が提供できるよう、「1」で科と科の間の様々な話し合いを行っています。

京都九条病院の医局はとても風通しがいいのが特色です。自分の専門外の疾患についてその分野のスペシャリストのドクターに意見を聞く。また、新人のスタッフが困ったときには上司にすぐ相談できる。このように、科や役職の垣根を越えて気軽に話し合える環境があるので、素早く問題解決ができ、患者さん本位の治療が行えます。

これからの目標は、こうした風通しのいい関係を保っていくことと、できるだけスタッフの負担を軽減し、最大限のパフォーマンスを発揮できるような環境を作っていくことです。

いま、検査一つするにも書かなければならない書類が山ほどありますし、そうした診療上の事務的な業務がどんどん増えてきて、結果的にスタッフの負担が重くなっているのが現状です。そこで、「オーダーングシステム」といった方法を取り入れ、できるだけ事務的なことを簡略化する方向に進んでいます。また、「DPC (Diagnosis Procedure Combination) 制度」を導入し、診療の効率化を進め、患者さんにゆとり接する時間的余裕を持てるようにするとともに、医療技術向上のための研修時間を増やし、さらにより医療サービスの向上につなげようと考えています。

患者さんが納得される外科治療を提供していきたい。

大切にしているのは、患者さんお一人お一人の状況に合わせ

た治療をすることです。例えば胃癌や大腸癌の場合、「こうい

患者さんが納得される外科治療を提供していきたい。

大切にしているのは、患者さんお一人お一人の状況に合わせ

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



人工膝関節・人工股関節の手術・入院費用が軽減されます。

京都九条病院は、平成20年7月1日、整形外科に関する更生医療の指定医療機関に指定されました。これにより、人工膝関節・人工股関節手術を受ける場合の手術・入院費用のご負担が軽減されることになりました。手続き等、詳しい内容に關しましては、当院の整形外科または、受付までお問い合わせください。

人工関節の情報満載のホームページもご利用ください。

<http://www.kyotokneecenter.com>



ご相談・ご質問は「医療法人同仁会(社団)京都九条病院」まで

Tel 075-691-7121 <http://www.kujohp.com>

SANKA AUTUMN Special Issue Vol.1



セカンドオピニオン

セカンド・オピニオンとは、よりよい決断をする為に、当事者以外の、専門的な知識を持った第三者に、求めた「意見」または、「意見を求める行為」の事です。患者さんが、検査や治療を受けるに当たって、主治医以外の医師に求めた「意見」または、「意見を求める行為」です。主治医に「すべてを任せろ」という従来の医師患者関係を脱して、複数の専門家の意見を聞くことで、より適した治療法を患者自身が選択していくべきと、言う考え方に沿ったものです。

う病状ならこうい手術をして、こうい抗癌剤を処方しなさい」といいう学会の作成した一定のガイドラインがあります。しかし、私たちはそのガイドラインに従いつつ、患者さんの年齢や家庭の事情、また他の病気を抱えているといったそれぞれの個性を考慮した手術、治療法を提示して、選択していただくようにしています。「病気を治すのではなく患者さんを治す」。それが私たちの考える最良の医療サービスなのですから。

個人的には、手術など危険を伴う治療を行う場合、患者さんに他の病院でセカンドオピニオンを聞いてもらうよう勧めています。手術に立ち向かうのは患者さん本人。だからこそ、納得して受けていたいただきたいからです。セカンドオピニオンを勧めることで、患者さんとの信頼関係もより高まります。

また、現在胆嚢摘出手術で行っている腹腔鏡手術を大腸癌や胃癌手術にも本格的に導入していく予定です。腹腔鏡手術だと、手術の際の傷が格段に小さくなるため、体力も温存でき、結果的に術後の回復が早いのです。入院期間も短くてすみ、患者さんの負担を大きく軽減することができます。

これからも新しい技術を積極的に取り入れ、最高の医療を提供していきたいと思っています。

目指すのは、 患者さんが笑顔になれる 心のこもった看護です。

患者さんひとりひとりの目標に合わせて、
機能の回復過程を
支えることを大切にしています。



高安 3階病棟

棟は整形外科
中心の病棟で

す。救急病院

ですので、事故な

どで受傷された若い方から、加齢により手足の機能が衰え整形外科的治療が必要になった高齢の方まで年齢層は幅広く、手足の機能についての問題を抱えた方が多くを占めています。

スタッフは年齢も経験もさまざまですが、チーム全体でカバーしあい、みんなで力を合わせてよい看護を提供していくこと

をモットーとしています。

速水 当院には「膝関節センター」もありますので、たくさんの方が人工膝関節の手術を受けます。患者さんは自分の仕事や生活を考え、入院・手術・

退院と計画を立てて入院して来られます。予定した入院期間で回復し退院できるように看護を行うようにしています。患者さんひとりひとりのライフスタイルを守る大切だと思うからです。そのために私たちは患者さんひとりひとりの目標に合わせて、機能の回復過程を支え

ることを大切にしています。

中村 私たち看護師が行うリハビリは、食事をする、トイレに行くといった日常生活に欠かせない動作を自力で行っていただけるよう支援することです。手足のしびれで自分の思うような動作が難しい方や、手術後で傷が痛む患者さんが看護師に頼ってこられることも少なくありません。そんな時には必要性や続けていくことの大切さを説明しながら、一緒にその人の生活に応じた機能訓練を行います。うまく出来たときは共に喜び、次の目標、というふうな最終的には自立をめざして看護しています。

速水 特に高齢者の看護では心理的なケアを大切にしています。入院までは身の回りのことを自分で出来ていた方が、急に歩け

看護部3階病棟係長
速水 綾子

看護部3階病棟課長
高安 郁代

看護部3階病棟係長
中村 祐司





SANKA AUTUMN Special Issue Vol.2

ない、身の回りのことができないといった状態になると、その状況を受け入れることが出来なくて、なかなか立ち直れないという場合があるのです。元気を取り戻すためには、自分自身がやる気にならないとできません。「機能回復・社会復帰に向けてがんばろう!」という前向きな気持ちになってもらえるようサポートしていきます。

中村 そのためにもコミュニケーションを大切に、できるだけお話を聞くようにしています。若い方でも家族を支える立場の場合などは、退院後の生活や仕事のことで悩んでおられたり、家族の方からは退院後の介護についての不安の相談を受けたり、患者さんはさまざま悩みを抱えておられます。私の場合は男性患者さんから担当を指名されることがあります。同性だから遠慮なく身体のケアを受けられるというだけでなく、悩みを打ち明けやすいと思うのでいいかなと思います。まず心が元気になるないと回復も遅れます。



積極的に訪問看護・介護との連携に取り組んでいます。

高安 また当院では退院後の生活支援にも力を入れています。たとえば、ひとり暮らしの高齢の方が膝を悪くして入院されたとしても、治療はしたけれど完全には元通りには動かせないといった場合、自宅で暮らしていくための生活支援が必要です。退院支援病室、地域医療連携室担当のケアマネージャー、訪問看護ステーションと連携し、入院中から退院後の生活環境を整えていきます。

速水 退院後の生活を安心して過ごせるように、入院初期から退院後のことを考えた看護を行っています。自宅で生活していくためには、どのような機能回復に重点を置いたリハビリが必要か、どこまで機能が回復すれば退院できるかなどについて患者さんやご家族と話し合い、医師、リハビリテーション科などと連携



して看護計画を立て、計画に添って看護をしていきます。退院が決まれば、自宅の家具の設置状況から介護用品の種類、選択、介護者が介護できる時間の調整や通院時の付き添い要否など、ひとりひとりの状況に合わせた具体的な対応が可能となるよう訪問看護・介護をはじめ、在宅支援のスタッフに引継ぎをしています。

高安 笑顔で退院される患者さんの喜びが、3階病棟スタッフの原動力となっています。これからも笑顔の絶えない関係をずっと保っていききたいですね。



MEDICINE
for **HEALTH**

知ってよかった「お薬豆知識」講座

講師：京都九条病院 薬剤部長
友沢 明徳
Akinori Tomozawa

正しく服用、早めに相談
余ったクスリは
リスクの素。



「後期高齢者医療制度」が始まって、半年が過ぎました。自己負担金を増やせば受診抑制がかかり、医療費抑制につながる、との考えなのでしようが、世知辛い世の中になつたものです。薬代もばかにならないとばかりに飲まなかつたお薬を大事に取つておく方も多いのではないのでしょうか。そんな時、ちょっと待つて考えてみてください。

は、特に注意が必要です。もらった時の症状は？

まさにクスリを逆さに読んでリスクとなるのです。そのリスクを防ぐには、不要な薬を早めに処分すること、飲み残しをなくすことです。どうしても飲めない場合は、飲み方や回数を変えられないか、もっと飲みやすい薬はないか、一包化すればどうか、などを医師や薬剤師に相談してみましよう。複数の医療機関から薬が出ている場合は、保険薬局で整理、確認し一包化してもらうことも可能です。

薬にも使用期限があります。一部を除いて、患者さんにはわかりません。元々医師が処方する薬は、決められた期間に飲む、使うことを前提にしているからです。特に開封した後は、使用期限内でもできるだけ早く使いきる必要があります。薬は高温や湿気に弱く、一包化（一回分ずつ機械で包装する調剤）した場合

は、特に注意が必要です。もらった時の症状は？

まさにクスリを逆さに読んでリスクとなるのです。そのリスクを防ぐには、不要な薬を早めに処分すること、飲み残しをなくすことです。どうしても飲めない場合は、飲み方や回数を変えられないか、もっと飲みやすい薬はないか、一包化すればどうか、などを医師や薬剤師に相談してみましよう。複数の医療機関から薬が出ている場合は、保険薬局で整理、確認し一包化してもらうことも可能です。

薬にも使用期限があります。一部を除いて、患者さんにはわかりません。元々医師が処方する薬は、決められた期間に飲む、使うことを前提にしているからです。特に開封した後は、使用期限内でもできるだけ早く使いきる必要があります。薬は高温や湿気に弱く、一包化（一回分ずつ機械で包装する調剤）した場合

は、特に注意が必要です。もらった時の症状は？

まさにクスリを逆さに読んでリスクとなるのです。そのリスクを防ぐには、不要な薬を早めに処分すること、飲み残しをなくすことです。どうしても飲めない場合は、飲み方や回数を変えられないか、もっと飲みやすい薬はないか、一包化すればどうか、などを医師や薬剤師に相談してみましよう。複数の医療機関から薬が出ている場合は、保険薬局で整理、確認し一包化してもらうことも可能です。

薬にも使用期限があります。一部を除いて、患者さんにはわかりません。元々医師が処方する薬は、決められた期間に飲む、使うことを前提にしているからです。特に開封した後は、使用期限内でもできるだけ早く使いきる必要があります。薬は高温や湿気に弱く、一包化（一回分ずつ機械で包装する調剤）した場合

は、特に注意が必要です。もらった時の症状は？

まさにクスリを逆さに読んでリスクとなるのです。そのリスクを防ぐには、不要な薬を早めに処分すること、飲み残しをなくすことです。どうしても飲めない場合は、飲み方や回数を変えられないか、もっと飲みやすい薬はないか、一包化すればどうか、などを医師や薬剤師に相談してみましよう。複数の医療機関から薬が出ている場合は、保険薬局で整理、確認し一包化してもらうことも可能です。



NURSING
for **HEALTH**

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座

京都九条病院 看護部3F病棟 准看護師
田中 春子
Haruko Tanaka

生活習慣病に、
一刻も早くさよならを。



不規則で不摂生な生活を積み重ねてきた結果に起こりうるメタボは私達看護師には大きな脅威です。そして私も健診で高血糖、高コレステロール、高脂血症を指摘されるようになり、生活習慣病と診断されました。

思い起こせばパンが大好きで炭水化物の多い食事であったり、スイーツが大好きで間食はしつづ中、気分転換と楽しさを兼ねて夫と外食をしたり、という食生活の割にほとんど運動もせず毎年の健診の結果を気にしながら、このような毎日が続いていました。

今年からメタボ対策として特定健診が始まり生活習慣病と診断され内服治療を要すると言う事でした。内服治療には抵抗があり出来れば薬を飲みたくありませんでした。メタボの改善にはバランス

不規則で不摂生な生活を積み重ねてきた結果に起こりうるメタボは私達看護師には大きな脅威です。そして私も健診で高血糖、高コレステロール、高脂血症を指摘されるようになり、生活習慣病と診断されました。

思い起こせばパンが大好きで炭水化物の多い食事であったり、スイーツが大好きで間食はしつづ中、気分転換と楽しさを兼ねて夫と外食をしたり、という食生活の割にほとんど運動もせず毎年の健診の結果を気にしながら、このような毎日が続いていました。

今年からメタボ対策として特定健診が始まり生活習慣病と診断され内服治療を要すると言う事でした。内服治療には抵抗があり出来れば薬を飲みたくありませんでした。メタボの改善にはバランス

不規則で不摂生な生活を積み重ねてきた結果に起こりうるメタボは私達看護師には大きな脅威です。そして私も健診で高血糖、高コレステロール、高脂血症を指摘されるようになり、生活習慣病と診断されました。

思い起こせばパンが大好きで炭水化物の多い食事であったり、スイーツが大好きで間食はしつづ中、気分転換と楽しさを兼ねて夫と外食をしたり、という食生活の割にほとんど運動もせず毎年の健診の結果を気にしながら、このような毎日が続いていました。

今年からメタボ対策として特定健診が始まり生活習慣病と診断され内服治療を要すると言う事でした。内服治療には抵抗があり出来れば薬を飲みたくありませんでした。メタボの改善にはバランス



大学時代のバスケット部での一コマ。
仲間たちと一緒に体を動かし、汗を流すことがとても好きでした。



日に日に成長する子どもが
僕の活力源。
将来、一緒にスポーツを
楽しむのが夢です。

FACE
of **D**OCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 循環器内科

野田 哲平先生
Tepppei Noda



目 下の楽しみは子どもと遊ぶこと。いま生後7ヶ月なのですが、もう伝い歩きをするし、日に日に表情も豊かになってきて、相手をしていてあきません。疲れて帰ってきて、子どもの顔を見ると気分が晴れて元気になれるんですよ。ミルクを飲ませたり、お風呂に入れたり、育児にも積極的に参加しています。ただ、家にいるとつい子どもと遊んでしまうので、勉強する時間が取れないのが悩みではあるのですが・・・。

休日は、私と妻のストレス解消も兼ねて、できるだけ外に出かけるようにしています。この夏休みも、慌ただしい日常を離れてリフレッシュしよう

と、夫婦でマカオに旅行してきました。もう少し子どもが大きくなったら、グアムやロサンゼルス、イタリアなど、かつて僕が旅行したところに連れて行ってやりたいと思っています。

もともとも体を動かすのが大好き。大学時代はバスケット部に所属し、サッカーやスノーボードなども楽しんでいました。残念ながら、いまは忙しくてたまにバスケット部のOB大会に参加する程度ですが、いつか子どもと一緒にスポーツができれば嬉しいですね。

LOVE
my **H**OSPITAL

私の病院自慢あれこれ

京都九条病院のいいところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のここが好き!!

好きな言葉 favorite word
「遊び心」
竹岡 亨
リハビリテーション課 理学療法士

スタッフ同士の仲がよいことですね。分からないことがあって質問すると全員が調べてくれたり、困ったことがあると互いにフォローし合います。もちろん、患者さんとの仲もいいですよ。僕の場合、患者さんから教えられることがたくさんあってコミュニケーションすることが楽しいので、自然と話が弾みます。『できるだけ楽しく』がモットー。患者さんが楽しくリハビリができて、積極的に外出を楽しんでもらえるようなリハビリをしていきたいと思っています。

好きな言葉 favorite word
「真心」
小泉 智美
栄養課 管理栄養士

皆さんが積極的に声かけをするなど、真心のこもったサービスをしている。なにより患者さんに真剣に向き合う姿がすばらしい。そんな先輩たちの仕事ぶりに大いに刺激を受けています。私も患者さんに声をかけ、食事も治療の一つとして、食べてもらおうと心がけ、積極的に病棟へ行っています。患者さんの顔を思い浮かべながら、状態に応じた献立を考えられる栄養士が理想。「あの栄養士が出す食事だから食べてみよう」と思ってもらえたら最高ですね。

好きな言葉 favorite word
「癒し」
藤山 豊
事務部 医事課

地域の方々に頼りにされている病院だというのが誇らしいですね。夜中に電話を受けた時など、京都九条病院に連絡すれば何とかしてもらえ、という安心感が伝わってきます。私は主に交通事故の患者さんの相談に乗ったりする仕事をしていますが、患者さんから頼られることも多く、とても働きがいを感じています。受付で心がけているのは笑顔。現場がどんなにバタバタしていても、笑顔を忘れないようにしています。

好きな言葉 favorite word
「チャレンジ」
井口 真弓
看護部 外来 看護師 内視鏡技師

最先端の医療技術を取り入れ、常に新しいことにチャレンジしているところ。外来の内視鏡室に勤務しているのですが、今年からカプセル内視鏡も始まりました。大学レベルの新しい技術が見られるのでとても勉強になります。この病院に勤めて何よりよかったのは尊敬できる先生と、よい仲間恵まれたこと。落ち込んでいるときも、周りのスタッフが「1人で抱え込まないで」と励ましてくれるので、前向きな気持ちになれます。

院内散策

ちんく

8

『第4回院内コンサート』

主催 京都九条病院



平成20年7月6日、第4回の京都九条病院院内コンサートを外来待合室にて開催いたしました。いまや恒例イベントとして地域に定着してきたのでしょうか、回を重ねるごとに参加者も増え、とても嬉しく思っています。

今回、演奏してくださったのは、2管編成(管楽器がそれぞれ2本ずつそろっている)のオーケストラ『アンサンブル・クローバー』の24名の皆さんです。もともと学生時代にオーケストラ団員だった人たちが集まって2005年に結成されたそうですが、実はこの『アンサンブル・クローバー』、メンバーの平均年齢がなんと71歳! 最高齢の方はコンサートマスター(ヴァイオリン)で、78歳というから驚きですね。週1回の練習を欠かさず、年齢を吹き飛ばすように元気に活動されている方々なのです。

老人介護施設での演奏活動のほかさまざまなイベントにも出演されていて、演奏回数は平成20年の1月から半年

間だけでも25回を超えるそうです。

オーケストラのレパートリーは主に懐かしい歌謡曲や童謡などで、今回のコンサートでも「たなばたさま」や「琵琶湖周航の歌」、「森の水車」、「故郷」など十数曲を次々に披露。もちろん院長の山木先生もホルン奏者として参加され、楽しいお話を交えて会場を大いに盛り上げてくださいました。聴衆の皆さんも、たくさんの楽器による生演奏をバツクに歌の数々と一緒に大合唱。思い出深い歌ばかりで、心から楽しんでおられる様子でした。

すばらしい演奏で心を癒されただけでなく、演奏者の方々からたくさんの方々の元気をいただいた今回のコンサート。参加された多くの方々にも勇気や励



『アンサンブル・クローバー』ホームページはこちら
<http://homepage3.nifty.com/encl0/>

これから職員一同、力を合わせ、楽しい院内コンサートを企画していくつもりです。次回もぜひ、ご期待ください。

ましを与えていただき、とても意義深いものになりました。『アンサンブル・クローバー』の皆様、本当にありがとうございました。

医療法人同仁会(社団)
京都九条病院
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7121・FAX 075-691-5311 www.kujohp.com/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マム フローラ**
〒617-0853 京都府長岡京市奥海印寺奥ノ院25-2
TEL 075-958-3388・FAX 075-951-5300 www.dojinkai.com/mam_f/

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マム クオーレ**
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3
TEL 075-691-7755・FAX 075-691-7765 www.dojinkai.com/mam_c/

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋経田町16
TEL 075-661-3820・FAX 075-661-3835 www.dojinkai.com/mam_s/

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-692-3368・FAX 075-692-3348 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10
TEL 075-691-7200・FAX 075-691-7116 www.dojinkai.com/mam_s/

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-7766・FAX 075-693-6175 www.do-clinic.com/

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 075-691-5070・FAX 075-693-6135 www.do-clinic.com/yobo/

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30
TEL 0120-558-756・FAX 075-672-1414 www.e-shinshin.com/